

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

目 次

	(頁)
I 概 況	
【組織運営の実績】	1
【事業の実績】	5
【1】（重点目標1） 障害者支援施設秋田ワークセンターの運営・管理	5
秋田ワークセンター相談支援事業所の運営・管理	5
コミュニティライフサポート谷内佐渡ホームの運営・管理	5
【2】（重点目標2） 障害者の自立更生の環境づくりと社会参加の促進	5
【3】（重点目標3） 市町村身体障害者協会の組織強化と活動の活性化	10
【4】（重点目標4） 人材育成のための研修事業の実施	13
【5】（重点目標5） 3障害（身体・知的・精神）を統合した事業の推進	14
II 事業別の概要	
【1】 障害者支援施設秋田ワークセンター事業の実績	17
【2】 秋田ワークセンター相談支援事業の実績	30
【3】 コミュニティライフサポート谷内佐渡ホーム事業の実績	33

令和5年度 事業報告書

I 概況

社会福祉法人として地域福祉の推進に寄与するため、障害者支援施設等の社会福祉事業や県からの委託事業を効果的かつ適正に執行するため、正副会長会議や評議員会、理事会、評議員選任・解任委員会などの諸会議を適時適切に開催した。

事業の実施では、県からの委託事業を実施するにあたり、県民の福祉ニーズに適切に対応するため、行政や関係団体等と連携を図り、最小の経費で最大の成果を挙げよう取り組んだ結果、各事業ともに概ね所期の目的を達成することができた。

県からの委託事業として実施している「小中学生向け障害理解教室」は、障害のある方々が講師として42校（昨年度37校）の小中学校に出向き、車いす乗車体験や盲導犬とのふれあい体験や見えない世界を肌で感じる体験、点字等を学ぶことによって、2,538名の児童・生徒（前年度2,057名）に対して障害の特性や障害者への理解を一層深める機会を提供することができた。

「サービス管理責任者等研修」は、受講者や講師等関係者の感染症予防対策として対面での集合研修とオンラインによる遠隔研修を組合せるなどの措置を講じながら、全てのカリキュラムを予定どおり実施することができた。

「第23回いきいき芸術・文化祭開催事業」は、秋田市にぎわい交流館A Uあう（秋田市）を主会場に実施し、延べ66（前年度延べ42）箇所の障害福祉事業所等の参加を得て手工芸品や加工食品などを販売する「いきいきマルシェ」を実施したほか、4年ぶりの開催となる「みんなのパフォーマンスステージ」や「知的・発達障がい疑似体験」、「eスポーツ体験会」、「点字体験」、「講演会」の開催、また、新たに「ランタン工作教室」や「福祉車両展示」などを実施した結果、大勢の皆様に来場いただくことができた。「秋田県障害者芸術福祉展」においては、初めて秋田県立美術館で開催したところ、観覧された皆様から好評をいただくとともに、展示作品のバーチャルツアー形式によるインターネット公開（4年目）により、福祉展終了後にいつでも作品を鑑賞することができるようにするなど、障害のある方々の芸術作品の素晴らしさを広く県民に周知することができた。

[組織運営の実績]

1 評議員会

(1) 第1回

- ・期 日 6月29日（木）
- ・場 所 秋田県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 評議員11名、理事5名、監事2名
- ・欠席者 評議員4名
- ・議 事

報告事項

- 報告事項1 令和4年度事業報告について
- 報告事項2 令和4年度収支決算報告について
- 報告事項3 社会福祉充実残額計算報告について
- 報告事項4 任期満了に伴う評議員の選任について

報告事項5 職員就業規則等の一部改正について

報告事項6 経理規程の一部改正について

議案

議案第1号 任期満了に伴う理事の選任（案）について

議案第2号 任期満了に伴う監事の選任（案）について

(2) 第2回

- ・期 日 令和6年3月28日（木）
- ・場 所 秋田県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 評議員12名、理事5名、監事1名
- ・欠席者 評議員4名
- ・議 事

議案

議案第1号 令和5年度資金収支第1次補正予算書（案）について

議案第2号 令和6年度事業計画書（案）について

議案第3号 令和6年度資金収支予算書（案）について

報告事項

報告事項1 組織規程一部改正について

報告事項2 職員就業規則等一部改正について

報告事項3 職員給与規程一部改正について

報告事項4 「市町村協会活性化事業及び障害理解促進事業実施計画」の変更について

報告事項5 令和5年度社会福祉法人等指導監査の結果について

2 理事会

(1) 第1回

- ・期 日 6月15日（木）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 理事8名、監事2名
- ・欠席者 理事1名
- ・議 事

報告事項

報告事項1 令和4年度事業報告について

報告事項2 令和4年度収支決算報告について

報告事項3 社会福祉充実残額計算報告について

報告事項4 任期満了に伴う理事の選任（案）について

報告事項5 任期満了に伴う監事の選任（案）について

議案

議案第1号 評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者について

議案第2号 職員就業規則等の一部改正（案）について

議案第3号 経理規程の一部改正（案）について

議案第4号 令和5年度第1回評議員会の招集について

(2) 第2回

- ・期 日 令和5年6月29日（木）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 理事8名、監事1名
- ・欠席者 理事1名、監事1名
- ・議 事

議 案

議案第1号 会長の選任について

議案第2号 副会長の選任について

議案第3号 常務理事の選任について

(3) 第3回

- ・期 日 令和6年3月14日（木）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 理事8名、監事2名
- ・欠席者 理事1名
- ・議 事

議 案

議案第1号 組織規程一部改正（案）について

議案第2号 職員就業規則等一部改正（案）について

議案第3号 職員給与規程一部改正（案）について

議案第4号 令和5年度資金収支第1次補正予算書（案）について

議案第5号 令和6年度事業計画書（案）について

議案第6号 令和6年度資金収支予算書（案）について

議案第7号 「市町村協会活性化事業及び障害理解促進事業実施計画」の変更について

議案第8号 令和5年度第2回評議員会の招集について

報告事項

報告事項1 職務執行状況について

報告事項2 資金運用状況について

報告事項3 令和5年度社会福祉法人等指導監査の結果について

3 正副会長会議

(1) 第1回

- ・期 日 6月8日（木）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 会長、副会長2名、常務理事、所長

・協議事項

- 協議事項1 令和4年度事業報告について
- 協議事項2 令和4年度収支決算報告について
- 協議事項3 社会福祉充実残額計算報告について
- 協議事項4 任期満了に伴う評議員の選任（案）について
- 協議事項5 任期満了に伴う理事の選任（案）について
- 協議事項6 任期満了に伴う監事の選任（案）について
- 協議事項7 職員就業規則等の一部改正（案）について
- 協議事項8 経理規程の一部改正（案）について
- 協議事項9 令和5年度第1回評議員会の招集について

・その他

(2) 第2回

- ・期 日 令和6年3月8日（金）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 会長、副会長2名、常務理事、所長
- ・議 事

協議事項（理事会議案及び報告事項について）

- 議案第1号 組織規程一部改正（案）について
- 議案第2号 職員就業規則等一部改正（案）について
- 議案第3号 職員給与規程一部改正（案）について
- 議案第4号 令和5年度資金収支第1次補正予算書（案）について
- 議案第5号 令和6年度事業計画書（案）について
- 議案第6号 令和6年度資金収支予算書（案）について
- 議案第7号 「市町村協会活性化事業及び障害理解促進事業実施計画」の変更について
- 議案第8号 令和5年度第2回評議員会の招集について
- 報告事項1 職務執行状況について
- 報告事項2 資金運用状況について
- 報告事項3 令和5年度社会福祉法人等指導監査の結果について

協議事項（評議員会議案及び報告事項について）

- 議案第1号 令和5年度資金収支第1次補正予算書（案）について
- 議案第2号 令和6年度事業計画書（案）について
- 議案第3号 令和6年度資金収支予算書（案）について
- 報告事項1 組織規程一部改正について
- 報告事項2 職員就業規則等一部改正について
- 報告事項3 職員給与規程一部改正について
- 報告事項4 「市町村協会活性化事業及び障害理解促進事業実施計画」の変更について
- 報告事項5 令和5年度社会福祉法人等指導監査の結果について

その他

4 評議員選任・解任委員会

(1) 第1回

- ・期 日 6月22日(木)
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 委員3名、会長、常務理事
- ・議 事

議案第1号 任期満了に伴う評議員の選任(案)について

5 監 査 令和4年度における理事の業務執行状況及び法人の財産状況等の監査

(1) 秋田ワークセンター

- ・期 日 6月1日(木)
- ・場 所 会議室
- ・出席者 監事2名、常務理事、所長
- ・内 容
 - ①職員紹介
 - ②事業報告書概要説明(施設所管分)
 - ③収支決算書概要説明(施設所管分)
 - ④昨年度監査講評事項への対応状況の報告
 - ⑤監査

(2) 法人事務局

- ・期 日 6月2日(金)
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 監事2名、会長、常務理事、所長(講評時)
- ・内 容
 - ①職員紹介
 - ②事業報告書概要説明(法人事務局所管分)
 - ③収支決算書概要説明(法人事務局所管分)
 - ④監査
 - ⑤全体講評
 - ⑥会長あいさつ

[事業の実績]

- 【1】(重点目標1)・障害者支援施設秋田ワークセンターの運営・管理
(17頁記載)
 - ・秋田ワークセンター相談支援事業所の運営・管理
(30頁記載)
 - ・コミュニティライフサポート谷内佐渡ホームの運営・管理
(33頁記載)

- 【2】(重点目標2)・障害者の自立更生の環境づくりと社会参加の促進

1 自立更生の環境づくり

(1) 障害者地域生活支援事業

障害者の自立更生の環境づくりのため、関係団体が自主的な事業に取り組むための助成金を交付するなど、その円滑な事業推進を図った。

①オストメイト社会適応訓練事業

日本オストミー協会秋田県支部が県内5地区において、装具、器具の使用法と選択法やストマクリニックや社会生活上の基本的事項に関する相談、情報交換等を感染症に配慮のうえ実施した。

- ・実施地区 由利本荘市、大仙市、大館市、横手市、秋田市
- ・参加者数 79人

②音声機能障害者発声訓練事業

喉頭摘出者福祉団体「秋笛会」は、食道発声訓練、各種相談、人工喉頭又は電気発声機による発声訓練等を実施する訓練会や研修会を行っている。定期練習会は9月から秋田県心身障害者総合福祉センターで再開し、延べ110名が参加した。また、10月に仙台市で開催された第36回北日本ブロック指導者研修会に2名が参加した。

③筋ジス者機能訓練事業

秋田県筋ジスの会が、筋ジストロフィー者に対して、社会生活上必要な知識の習得や情報交換等の場として、医療相談や生活・福祉相談を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防対策として、昨年同様開催を中止した。

④車いす使用者のためのレクリエーション事業

秋田県車いす連合会において、運動会を実施した。予定していたゲートボール大会及び文化交流会は、感染症の流行や会員の施設入所者増加等により、参加者の増加が見込めないため中止した。

(2) 小中学生向け障害理解教室の実施

障害のある方などが講師として県内の小中学校に出向いて講話や障害疑似体験などを行うことで、児童・生徒と障害者の交流を図るとともに、障害及び障害者への理解を深め、心のバリアフリーの推進につなげることを目的として「小中学生向け障害理解教室」を開催した。

- ・令和5年度実施学校数 42校・延べ43回（令和4年度：37校・延べ41回）
- ・令和5年度参加生徒数 2,538人（令和4年度：2,057人）
- ・実施状況

実施日	学校名	講座名	参加生徒数
5月29日	秋田市立戸島小学校	点字を学ぼう	10人
6月5日	秋田市立雄和小学校	見えない世界を見てみよう	18人
6月6日	秋田市立旭南小学校	車いす体験教室	54人
6月6日	秋田市立金足西小学校	点字を学ぼう	19人
6月7日	秋田市立築山小学校	盲導犬を知ろう	78人
6月8日	秋田市立外旭川小学校	見えない世界を見てみよう	76人
6月15日	潟上市立追分小学校	盲導犬を知ろう	83人
6月15日	大館市立城南小学校	車いす体験教室	61人
6月20日	秋田市立飯島南小学校	見えない世界を見てみよう	63人
6月20日	秋田市立寺内小学校	車いす体験教室	57人

6月21日	秋田市立土崎南小学校	盲導犬を知ろう	37人
6月23日	秋田市立河辺小学校	見えない世界を見てみよう	29人
6月24日	秋田市立泉小学校	点字を学ぼう	77人
6月28日	秋田市立飯島小学校	見えない世界を見てみよう	79人
6月29日	大館市立西館小学校	点字を学ぼう	9人
7月4日	秋田市立勝平小学校	車いす体験教室	100人
7月5日	大仙市立清水小学校	盲導犬を知ろう	12人
7月13日	秋田市立大住小学校	盲導犬を知ろう	78人
8月2日	能代市社会福祉協議会	点字を学ぼう（小学生）	10人
8月28日	大仙市立横堀小学校	点字を学ぼう	16人
9月6日	秋田市立保戸野小学校	車いす体験教室	29人
9月6日	羽後町立羽後明成小学校	点字を学ぼう	16人
9月12日	秋田市立明德小学校	車いす体験教室	18人
9月14日	北秋田市立鷹巣東小学校	点字を学ぼう	17人
9月15日	由利本荘市立西目小学校	見えない世界を見てみよう	48人
9月15日	秋田市立牛島小学校	車いす体験教室	48人
9月20日	秋田市立高清水小学校	盲導犬を知ろう	58人
9月27日	秋田市立下新城小学校	見えない世界を見てみよう	15人
10月3日	秋田市立御所野小学校	見えない世界を見てみよう	90人
10月3日	由利本荘市立大内小学校	車いす体験教室	13人
10月4日	秋田市立桜小学校	盲導犬を知ろう	148人
10月5日	秋田市立上北手小学校	点字を学ぼう	41人
10月11日	秋田市立港北小学校①	車いす体験教室	101人
10月18日	秋田市立港北小学校②	盲導犬を知ろう	101人
10月18日	上小阿仁村立上小阿仁小学校	見えない世界を見てみよう	7人
10月22日	北秋田市立鷹巣中学校	車いす体験教室	130人
10月24日	由利本荘市立新山小学校	車いす体験教室	117人
11月2日	秋田市立秋田東小学校	点字を学ぼう	76人
11月8日	秋田市立日新小学校	盲導犬を知ろう	137人
11月17日	大館市立山瀬小学校	車いす体験教室	21人
11月22日	秋田市立仁井田小学校	盲導犬を知ろう	89人
11月29日	秋田市立川尻小学校	車いす体験教室	66人
11月30日	秋田市立山王中学校	盲導犬を知ろう	186人

(3) 車いす使用者等への理解啓発事業

車いす使用者等への理解啓発を図るため、車いす使用者が講師として県内の小学校において感染症に配慮のうえ講座等を行うとともに、作成したパンフレットやリーフレットを配布することで障害に対する理解を深めた。

- ・実施学校数 8校（令和4年度：4校）
- ・参加生徒数 522人（令和4年度：247人）

・内 訳

実施日	学校名	講座名	参加児童数
7月11日	秋田市立日新小学校	バリアフリー教室	137人
7月14日	横手市立旭小学校	車いす者支援講座	42人
7月18日	横手市立南小学校	車いす者支援講座	79人
8月31日	秋田市立泉小学校	バリアフリー教室	77人
9月8日	秋田市立岩見三内小学校	バリアフリー教室	10人
9月21日	横手市立北小学校	車いす者支援講座	62人
10月14日	秋田市立仁井田小学校	バリアフリー教室	89人
10月17日	横手市立大雄小学校	車いす者支援講座	26人

(4) 県障害3団体による県知事に対する要望活動

秋田県における障害者福祉の向上を目指し、当協会と秋田県手をつなぐ育成会及び秋田県精神保健福祉会連合会の3団体の会長等が県庁を訪問し、災害時の避難体制の充実や障害関係予算の確保、福祉医療の充実など11項目に関する要望書を佐竹知事に提出した。この中で当協会からは、災害が起きた際の障害のある方などいわゆる「避難行動要支援者」がスムーズに避難できるよう、市町村が各個人毎に「個別避難計画」を作成するよう県が働きかけることなどの下記5項目を要望し、知事からは「個別避難計画」の作成については今後も市町村と連携して柔軟に対応していきたいこと、また、県心身障害者総合福祉センター内にあるトイレの洋式化は令和6年度に実施したい旨の回答を得た。

・期 日 令和5年12月12日（火）

・場 所 秋田県庁3階第一応接室

・各団体からの秋田県への要望事項

1 社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会

- ① 災害時における障害者等の避難体制の確保について
- ② 障害者社会参加促進に関する県障害関係予算の確保について
- ③ 県庁における障害者優先調達の推進について
- ④ 障害者芸術文化活動支援センターの設置について
- ⑤ 県心身障害者総合福祉センタートイレの洋式化について

2 公益社団法人秋田県手をつなぐ育成会

- ① 秋田県からの障がい者就労施設等への優先調達について
- ② 特別支援学校高等部卒業生の一般就労に向けた支援について
- ③ 福祉医療制度の充実について

3 特定非営利活動法人秋田県精神保健福祉会連合会

- ① 福祉医療制度の更なる充実について
- ② 高速道路料金等の割引について
- ③ 精神保健福祉ボランティア組織の復活に向けた取り組みへの支援について

2 社会参加の促進

(1) 身体障害者更生相談事業

身体障害者の更生のために必要な各種相談に応じ、適切な指導、助言を行うことで、身体障害者福祉の増進を図った。

・相談件数 14件

(2) 身体障害者ジパング倶楽部への加入受付

日本身体障害者団体連合会と連携し、JR東日本の協力のもと、ジパング倶楽部の身体障害者向け特別会員の受付業務を行った。

・加入件数 新規8件 更新61件 合計69件

(3) 秋田県障害者スポーツ協会が実施する事業への協力

「第21回秋田県障害者スポーツ大会」

令和5年8月19日（土）開催の一般卓球競技へ職員3名派遣

「特別全国障害者スポーツ大会 燃ゆる感動かごしま大会」

令和5年10月5日（木）開催の結団式へ会長出席

令和5年10月28日（土）～30日（月）の日程で開催

(4) **公開講座**秋田県身体障害者相談員連絡協議会研修会の開催

身体障害者の福祉の増進を図るため、身体障害者に必要な相談援助を行うことを目的に市町村が配置している身体障害者相談員の相談技術の向上及び障害者福祉に関する県民の一層の理解促進を目指して、秋田県身体障害者相談員連絡協議会研修会を秋田県の後援により「公開講座」として開催した。

・期 日 令和5年11月2日（木）

・場 所 秋田県社会福祉会館2階「展示ホール」

・対 象 市町村身体障害者相談員、市町村身体障害者協会会員及び各協会事務担当者、県及び市町村障害福祉担当行政職員及び福祉関係団体の役職員、障害福祉に関心のある県民の方

・内 容

あいさつ 秋田県身体障害者相談員連絡協議会会長、秋田県健康福祉部障害福祉課課長

講 演1 演題 「障害者虐待防止法の概要と障害者虐待の状況」

講師 秋田県健康福祉部障害福祉課 副主幹 櫻田陽悦氏

講 演2 演題 「障害年金の概要と申請について」

講師 日本年金機構秋田年金事務所 主任 鈴木美鈴氏

講 演3 演題 「医療的ケアを必要とする重度身体障害者（児）のQOLの向上を目指して」

～多機能型ケアベース「にのに」で行っていること～

講師 特定非営利活動法人にこっと秋田 理事長 八代美千子氏

・参加者 68名（身体障害者相談員40名、その他28名）

(5) 「友活交流会」の開催（新規事業）

写真撮影などの創作活動に関心のある障害者や創作活動を通じて交流の輪を広げたい障害者、これらの活動を支援したい方などを対象に、秋田県障害者芸術福祉展の出品数増を目指すなど、創作活動のきっかけづくりのための交流会を開催した。

・第1回

期 日：令和5年6月3日（土）午前10時から12時

会 場：秋田県心身障害者総合福祉センター3階「会議室A・B」

来場者：参加者19名、付添2名、講師及びスタッフ6名 計27名

講 師：鈴木竜典（R-room代表・写真家）

内 容：ミニブーケと焼き菓子を対象に撮影実習をした。撮影後はお互いの写真をプロジェクターに映し、鑑賞会を行うことで交流を深めた。

・第2回

期 日：令和5年7月29日（土）午前10時から12時

会 場：秋田市上北手・遊学舎「研修室4」

来場者：参加者17名、付添1名、講師及びスタッフ7名 計25名

講 師：鈴木竜典（R-room代表・写真家）

内 容：遊学舎内の「ふれあい広場」でお互いを撮影し合う実習を行い、撮影するだけでなく撮影される「モデル体験」が好評であった。参加者同士で写真を交換したり、連絡先を教え合ったりする姿があり、良い交流の機会となった。

・第3回

期 日：令和5年11月23日（木・祝）午前10時から12時

会 場：秋田県心身障害者総合福祉センター3階「会議室A・B」

来場者：参加者17名、付添1名、講師及びスタッフ6名 計24名

講 師：鈴木竜典（R-room代表・写真家）

内 容：お互いの撮影した写真を持ち寄り、鑑賞会を行った。「令和5年度秋田県障害者芸術福祉展」に出品した参加者へのインタビューを行うとともに、会場に設営した「出張写真スタジオ」で講師による撮影を体験した。

・令和5年度秋田県障害者芸術福祉展への出品者 4名（うち奨励賞3名）

【3】（重点目標3）・市町村身体障害者協会の組織強化と活動の活性化

1 令和5年度秋田県身体障害者自立更生等表彰式の開催

7月20日にあきた芸術劇場「ミルハス」での開催を予定していた「第41回秋田県身体障害者福祉大会」を7月14日午後からの記録的な豪雨のため中止したことから、大会で表彰されることになっていた皆様に出席いただき令和5年度秋田県身体障害者自立更生等表彰式を実施した。

◎令和5年度秋田県身体障害者自立更生等表彰式

・期 日 令和5年11月14日（火）

・場 所 秋田県庁「正庁」

・受賞者

- (1) 秋田県知事表彰 12名
(自立更生者4名、団体育成功労者8名)
- (2) 日本身体障害者団体連合会会長表彰 1名
- (3) 秋田県身体障害者福祉協会会長表彰 14名
(自立更生功労者8名、団体育成功労者6名)

・出席者

- (1) 表彰受賞者等 33名
- (2) 来賓

秋田県議会議長

- (3) 主催者

秋田県副知事、秋田県健康福祉部長、秋田県健康福祉部次長、秋田県健康福祉部障害福祉課長、秋田県身体障害者福祉協会会長、秋田県身体障害者福祉協会副会長、秋田県身体障害者福祉協会理事・監事・常務理事

・表彰式次第

- 1 会式のことば
- 2 あいさつ

秋田県副知事 神部 秀行

秋田県身体障害者福祉協会会長 伊藤 英紀

- 3 表彰

秋田県知事表彰

日本身体障害者団体連合会会長表彰

秋田県身体障害者福祉協会会長表彰

- 4 来賓祝辞

秋田県議会議長 北林 丈正

- 5 閉式のことば

◎令和5年度秋田県身体障害者福祉大会表彰審査委員会

- ・期 日 令和5年6月8日(木)
- ・場 所 秋田県心身障害者総合福祉センター3階「会議室」
- ・出席者 会長、副会長、常務理事
- ・協議事項 第41回秋田県身体障害者福祉大会会長表彰等について

- (1) 会長表彰候補者の審査
- (2) 代表受賞者の選出
- (3) スローガン(案)・大会宣言(案)・大会決議(案)について
- (4) 大会における役割分担について
- (5) その他

2 市町村身体障害者協会長・事務担当者等会議

各市町村身障協会の活動事例の情報交換等を行うなど、各団体の活動の活性化に向けた取り組み

の重要性について相互理解を深めるため、次のとおり実施した。

- ・期 日 令和5年6月23日（金）
- ・場 所 秋田県心身障害者総合福祉センター3階会議室
- ・内 容
 - （1）事業説明
 - 1 「令和5年度秋田県身体障害者福祉協会主要事業について」
社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会職員
 - 2 「令和5年度秋田県障害者スポーツ協会事業について」
一般社団法人秋田県障害者スポーツ協会スポーツ推進員
 - 3 「令和5年度秋田県ボッチャ協会事業について」
秋田県ボッチャ協会役員
 - （2）情報交換
 - 1 「令和5年度市町村身体障害者協会事業について」
 - 2 「協議・検討依頼及び要望事項」について
- ・参加者 42名

3 障害者のための軽スポーツレクリエーション大会開催事業

昨年度から軽スポーツレクリエーションの正式競技として位置づけた「ボッチャ」を秋田県ボッチャ協会の指導のもと独自のルールで、気軽に楽しく参加できる大会として開催した。

- ・期 日 令和5年8月26日（土）
- ・場 所 秋田県社会福祉会館2階体育館・展示ホール
- ・実施競技 ボッチャ
- ・参加市町村
秋田市、能代市、横手市、男鹿市、八峰町、五城目町
- ・参加者数
71名（選手40名、審判16名、引率5名、手話通訳員3名、事務局7名）

4 会報「身障秋田」の発行

当協会の事業活動や予算・決算等を掲載した会報「身障秋田」を作成して市町村協会会員等に配布するとともにホームページで公開することにより、当協会の活動内容を広く周知した。

- ・令和5年度発行月 令和5年9月、令和6年1月
- ・令和5年度印刷部数 各2,500部

5 法人ホームページの運営

障害者情報ネットワーク「ノーマネット」を活用し、身体・知的・精神の障害のある方々に関する各種情報を提供している当法人のホームページを公開することにより、障害者福祉に関する各種情報の提供や市町村協会の紹介などを行い、市町村協会会員の確保に努めた。

- ・アクセス数：9,700件

【4】（重点目標4）・人材育成のための研修事業の実施

1 サービス管理責任者（児童発達支援管理責任者）研修の実施

障害福祉事業所におけるサービスの質の確保と向上を図るため、関係法令等に基づきサービス管理責任者等の知識及び技術の向上等を目的に研修会を開催した。新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン形式による研修と対面形式による集合研修を受講者の選択制として実施した。

（1）更新研修の開催

1 更新研修 1

- ・期 日 令和5年9月21日（木）
- ・形 式 集合研修
- ・場 所 秋田県社会福祉会館2階展示ホール
- ・修了者 93名

2 更新研修 2

- ・期 日 令和5年9月22日（金）
- ・形 式 オンライン研修
- ・場 所 職場又は自宅
- ・修了者 70名

（2）実践研修の開催

実践研修

- ・期 日 令和5年10月19日（木）～20日（金）
- ・形 式 集合研修
- ・場 所 秋田県社会福祉会館2階展示ホール
- ・修了者 80名

（3）基礎研修の開催

1 共通講義

- ・期 日 令和5年9月25日（月）～10月26日（木）【e-ラーニングによる受講】
- ・場 所 職場又は自宅

2 基礎研修 1

- ・期 日 令和5年11月16日（木）～17日（金）
- ・形 式 集合研修
- ・場 所 秋田県社会福祉会館2階展示ホール
- ・修了者 74名

3 基礎研修 2

- ・期 日 令和5年11月29日（水）～30日（木）
- ・形 式 オンライン研修
- ・場 所 職場又は自宅
- ・修了者 75名

(4) 研修準備打合せ会の開催

1 全体会・更新研修打合せ会

- ・期 日 令和5年9月8日(金)
- ・場 所 「秋田県社会福祉会館9階第3会議室」(オンライン出席2名)
- ・内 容 研修内容の説明(WEB研修の進め方等)
- ・出席者 講師・ファシリテーター(助言者)20名、県障害福祉課1名、事務局4名

2 基礎研修打合せ会

- ・期 日 令和5年11月1日(水)
- ・場 所 「秋田県社会福祉会館9階第4会議室」(オンライン出席1名)
- ・内 容 研修内容の説明及び演習の進め方等について
- ・出席者 講師・ファシリテーター(助言者)19名、県障害福祉課1名、事務局1名

3 実践研修打合せ会

- ・期 日 令和5年10月13日(金)
- ・場 所 「秋田県社会福祉会館9階第3会議室」
- ・内 容 研修内容の説明及び演習の進め方等について
- ・出席者 講師・ファシリテーター(助言者)16名、事務局2名

(5) 国の指導者養成研修への参加

1 専門コース別研修(意思決定支援コース・障害児支援コース・就労支援コース)

- ・期 日 令和5年9月12日(火)
- ・形 式 ズームによる双方向通信
- ・参加人員 3名

2 サビ管・児発管研修(基礎研修コース・実践研修コース・更新研修コース)

- ・期 日 令和5年9月13日(水)～15日(金)
- ・場 所 国立障害者リハビリテーションセンター学院
- ・参加人員 3名

(6) 打合せ会

- ・期 日 令和6年3月22日(金)
- ・場 所 「秋田県心身障害者総合福祉センター3階会議室」又はオンライン
- ・内 容 令和5年度の研修状況及び令和6年度の計画について
- ・出席者 講師・ファシリテーター(助言者)16名(うちオンライン出席8名)、県障害福祉課1名、事務局4名

【5】(重点目標5)・3障害(身体・知的・精神)を統合した事業の推進

1 芸術・文化講座開催等事業

第23回心いきいき芸術・文化祭を次のとおり開催した。

(1) 第23回心いきいき芸術・文化祭の開催

- ・期 日 令和5年11月9日（木）～11日（土）
- ・場 所 エリアなかいち（秋田市にぎわい交流館AUあう・秋田県立美術館）
- ・内 容

1 オープニングセレモニー

①あいさつ

○秋田県副知事 神部 秀行

○心いきいき芸術・文化祭実行委員会委員長 太田 雄介

②来賓紹介

③本年度テーマ「見つけたい私のできること。見つけたらみんなに届け私の思い。」

応募者へ採用認定証を授与

④本年度のイベントポスターデザインに応募し選定された最優秀賞を受賞した秋田公立美術大学附属高等学院の生徒へ賞状授与

⑤心いきいき芸術・文化祭イメージキャラクター「めしゅめろ」と「制作者」の紹介

2 障害者芸術福祉展「出品作品数295点、行事終了後に360度カメラで撮影したバーチャルツアー形式の映像を協会ホームページで紹介（常時公開中）」

3 いきいきマルシェ（製品販売）「延べ66か所の障害福祉事業所が参加した手工芸品や加工食品・野菜などの販売」

4 みんなのパフォーマンスステージ「県内の障害者を含む5団体による音楽や創作ダンスによる日頃の活動の成果の披露」

5 eスポーツ体験会

講師：障がい者支援施設ほくと 作業療法士 若狭利伸氏

eスポーツの概要やトピックス、福祉現場のeスポーツ、eスポーツができることなどの講演と、ゲームソフトを使用した来場者との体験会の実施

6 足こぎ車いす（COGY）の紹介

講師：株式会社TESS 代表取締役 鈴木堅之氏

足が不自由な方でも、自分の足でペダルを漕いで進むことができる、世界初の車いすの紹介やCOGYを体験した人たちの感想を交えての講演と体験会の実施

7 アンプティサッカー日本代表による講演とBB秋田社長との対談

講師：アンプティサッカー日本代表 主将 松崎佑亮氏

対談者：株式会社ブラウブリッツ秋田 代表取締役社長 岩瀬浩介氏

アンプティサッカーとの出会いや障害と向き合った時の葛藤、自身の経験などを通じて障害者スポーツの素晴らしさ、目標を持つことへの喜びを語る講演会及び対談の実施と、アンプティサッカーで使用するクラッチ（杖）を使用した体験会の実施

8 知的・発達障がい疑似体験

講師：こまちほ～ぶ隊

知的・発達障がいの特性の説明や当事者が日常生活をしている中での戸惑いや焦りなど、目に見えない障がい疑似体験の実施

9 点字体験（秋田県点字図書館）

点字に対する理解を深めるための名刺やしおりなどの作成

10 ランタン工作教室

講師：子育て応援 Seed 佐藤千晶氏

一定の役目を終えた点字用紙を『ひかり溢れるランタン』に替える工作教室の実施

11 福祉車両展示

協力団体名・会社名：秋田ダイハツ販売株式会社、日産秋田会、秋田トヨペット株式会社、トヨタカローラ秋田株式会社

利便性の高さやハンディを持つ方々の生活をより充実したものにするための福祉車両等の展示

12 秋田県障害者芸術福祉展表彰式

県障害福祉課長挨拶、秋田県知事表彰（一席）受賞者 3 名、各障害団体長賞（二席）受賞者 3 名、金賞（三席）受賞者 9 名に表彰状を授与

3 日間来場者延べ約 1, 4 0 0 人

（2）実行委員会の開催

1 第 1 回実行委員会

- ・期 日 令和 5 年 8 月 2 日（水）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・内 容 ①役員選出②予算について③開催要綱（案）について他
- ・出席者 委員 2 0 名、事務局 6 名

2 第 2 回実行委員会

- ・期 日 令和 5 年 9 月 1 8 日（水）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・内 容 ①イベント内容について②各種募集状況について他
- ・出席者 委員 1 9 名、事務局 6 名

3 第 3 回実行委員会

- ・期 日 令和 5 年 1 0 月 2 5 日（木）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・内 容 ①オープニングについて②各種イベントについて③役割分担について他
- ・出席者 委員 2 0 名、事務局 6 名

2 専門相談機関設置事業（障害者 1 1 0 番）

障害に関する全般的な相談を行うとともに、障害を理由とする差別に関する相談に対応するための常設の相談窓口を設置、また、偶数月第 3 火曜日に弁護士による専門相談を行ったほか、県及び市町村の相談窓口への支援等を行った。

・相談件数実績 2 1 8 件

（うち、弁護士相談 3 件・差別に関する相談 2 件）

II 事業別の概要

【1】障害者支援施設秋田ワークセンター事業の実績

1 総括

今年も感染対策に追われた1年であったが、クラスターが発生する事は無かった。新型コロナウイルス感染症は5類感染症になったが、施設ではワクチンの積極的な接種、抗原キットの活用や換気・消毒・マスクの着用などの基本的な感染対策を行った。また、7月14日からの秋田市周辺での大雨災害により施設とグループホーム周辺においては、川が冠水し、その日の夕方職員が退社できず、夜勤の職員も出勤できない状況となり、退社できなかった職員が翌日まで勤務を継続せざるを得ない状態となったが、翌朝には水も引き通常業務に戻ることができ施設への被害もなかった。

就労支援事業の印刷事業については、オンライン方式の研修会などが増加したことにより、資料の印刷発注は減少したままとなった。また、古紙回収作業については収支のバランスが取れないため自主回収を協力業者への委託へ切り替えるとともに、工賃向上を目指した新たな作業として、小型家電リサイクル作業でパソコン等を解体し基盤などを取り出す作業の準備を進めている。

施設入所利用者の確保については、市内の総合病院の相談室などへの訪問や、相談支援事業所などと連携を取りながら、施設入所者の確保と生活介護・就労支援事業における利用者増に取り組むとともに、手厚い支援サービスの提供と魅力ある施設づくりに努めた。

令和6年度の事業実績は次のとおりである。

2 各種事業の定員及び現員の状況 (令和6年3月31日現在)

施設入所支援事業	利用定員	48名	／	現員	48名	(男性33名、女性15名)
生活介護支援事業	利用定員	40名	／	現員	38名	(男性24名、女性14名)
就労継続支援B型事業	利用定員	40名	／	現員	37名	(男性31名、女性6名)

3 職員配置の状況 (令和6年3月31日現在)

職 種	職員数		担 当 業 務
	令和5年度	令和4年度	
所 長	1(1)	1(1)	所内の総括、苦情解決責任者、会計責任者
サービス管理 責任者	2	2	個別支援計画、アセスメント、モニタリング等相談業務及び記録等の確認(生活・施設入所支援1名、就労支援1名)
事 務 員	3(2)	3(3)	予算・決算の事務処理及び金銭の出納、利用料の請求・精算等、職員の給与、福利厚生、利用者支援等
生活支援員	16(8)	16(6)	生活介護支援及び日常生活支援、相談業務
就労支援員	9(7)	8(6)	作業支援及び指導、製品管理、営業販売、相談業務
看 護 師	2(1)	2(1)	利用者等の健康管理
栄 養 士	1	1	給食献立、利用者の栄養管理
調 理 員	4(2)	5(5)	給食業務
嘱 託 医	1(1)	1(1)	利用者の健康管理・診断、医務相談
合 計	39(22)	39(23)	嘱託医除く

※(再掲)は嘱託職員・非常勤職員及びパート職員数

4 事業の実施状況

(1) 施設入所支援事業

施設内の換気や消毒、利用者の体調確認等の基本的な感染症対策を行いながら、利用者様が安全で安心して生活できるように支援の充実に努めた。個別支援計画は、利用者様からのアセスメントやモニタリングに十分時間をとり、利用者様の多様なニーズに対応するため関係者で協議を行い適切な個別支援の提供に努めた。

支援職員のチーム化や支援動作の確認・検証を行い、基本動作をマニュアル化して職員の支援に差が出ないよう標準化に努め、最適な支援の提供やリスク軽減のための支援体制の充実に努めた。また、日々の健康管理や食事・排せつ介助、生活相談を行うとともに利用者の満足度調査を実施するなど、利用者様が充足感を得られるよう適切なサービス提供に努めた。

(2) 生活介護支援事業

日中活動やレクリエーションなどを実施するとともに、利用者様の多様なニーズに応えるため、食事や入浴、排せつの介助、生活情報の提供など、日常生活における個人支援プログラムに沿ったサービスの提供に努めた。

また、身体の機能維持や健康の保持、増進のために理学療法士による機能訓練計画に沿った訓練を実施し、通院・受診及び服薬支援のサービス提供を行った。

食生活の充実のため、配膳や下膳はもちろんのこと、個人に合った福祉用具を準備し、年齢とともに低下する嚙む力や飲み込む力の低下を予防するため、口腔体操を行うなど支援の充実に努めた。

利用者様が楽しみにしてきた花見会、日帰り旅行や買い物支援など活動しやすい少人数で行った。また、レクリエーション活動としてポッチャや卓球バレーなど他の施設や関係団体との交流なども積極的に行った。

利用者様の高齢化と重度化による転倒などの事故防止、また、移乗支援などによる職員の負担軽減を図るため、職員研修や福祉用具を積極的に活用するなどして負担軽減を図った。

(3) 就労支援事業

新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことにより、町内会や企業・団体の各種イベントにおける総会資料やプログラム等の印刷が少しずつではあるが受注されるようになった。しかし、就労支援事業の売上収入は厳しい状況が続いているのが現状で、景気の動向に左右され、各企業における経費節減のために発注を押さえる傾向や時代の流れでもあるペーパーレス（特に病院関係のカルテ類の受注減）が大いに影響を及ぼしていると思われる。また、優先調達推進法における県や市、労働局等の官公需からの受注が思いのほか伸び悩んでいる状況で、行政職員による庁舎内の周知だけに頼るのではなく、更なる積極的な営業活動が必要となっている。

軍手の受注は減少傾向にあり売上げも減少しており、原材料費の値上げも続いている状況であるが、良質な製品の安定供給のため、随時、設備の点検整備に取り組むこととしている。

古布を利用したウエスは、受注件数及び収益共に増加傾向にある。新規顧客確保のための営業活動は継続して行っていく。

リサイクル作業の古紙・段ボール等回収については、トラックの経年劣化による修繕費及び燃料費等を考慮した結果廃車にし、軽貨物自動車を新たに導入した。一回の回収量減による顧客の回収日変更が想定されたので、取引業者に回収の委託を依頼し、既存顧客に迷惑が掛からないよう対応を図った。また、回収の委託による収入減は否めないため、新たなリサイクル作業であるパソコン解体作業を次年度開始に向けて準備を進めた。

利用者の工賃の総支給額は7,656千円であった。

5 施設の整備状況等

(1) ホンダ販売よりパソコン寄贈

ホンダ販売労働組合ホンダ四輪販売北東北支部様から7月18日に就労支援事業で使用するためパソコン2台(38万円相当)の寄贈があった。

(2) 省エネルギー用断熱ガラス入替工事

省エネルギー化支援事業費補助金について秋田県へ申請し、9月4日に1,933,000円の交付決定があった。この補助金と固定資産支出を充当して省エネルギーのための断熱ガラス取替(ガラスの複層化)工事(14カ所)を実施し11月18日に完了した。(設置費用3,190,000円)

(3) 敷地内の倒木の撤去

11月18日から19日にかけての暴風雨により、秋田ワークセンター敷地内の松の木が折れ、危険なため土地所有者の秋田市(障がい福祉課)が12月11日に倒木の撤去を行った。

6 機器の購入及び設備の整備状況

(1) 施設全般

- ①活動室のエアコンの入替
- ②衣類ガス乾燥機

(2) 生活介護支援事業

利用者の利便性と職員の負担軽減のために、電動ベッド1台を導入した。

(3) 就労継続支援事業

- ① 印刷用CTP製版機の入替
- ② 製本用紙折り機の入替え
- ③ カラー印刷用4色印刷機の修繕を実施
- ④ 軽貨物自動車の導入

7 給食提供の状況

(1) 行事食・選択食の実施

四季折々の日本の食文化や斬新なアイデアを盛り込んだメニュー、又、満足感や幸福感など心理的な面も大切にしながら、楽しく豊かな食事提供を目指して年8回の行事食と5回の選択食を実施した。

(2) 利用者の健康づくり

年3回の食事摂取量調査や身体・健康状況に関するデータを支援員、看護師などの専門職と共有・連携をはかり個別の栄養ケア・マネジメントの作成により、健康的な身体機能の維持増進のために栄養と健康の管理に努めた。生活習慣病の重篤化と合併症予防のため、栄養バランスと減塩を重視したメニュー提供と食事指導を実施した。

(3) 福祉弁当

下北手地区社会福祉協議会から委託を受けて、地域の独居老人に対して月1回(6月~9月の夏季間は中止)年間83食の福祉弁当を提供した。

8 健康管理の状況

(1) 定期健康診断、定期診察等

健康管理のために年2回の定期健康診断、月1回の嘱託医の診察、年1回の歯科検診、月1回の体重測定、週1～2回の血圧測定などの定期健診の充実を図り、疾病の早期発見・早期治療に努めた。

また、利用者様のほとんどが何らかの疾病を抱え治療中であるため、計画的な定期通院と服薬管理の徹底に努めた。

(2) インフルエンザ感染予防

インフルエンザ感染予防のために、予防接種料金の一部、または全額を施設が負担し、利用者様61名、職員36名に予防接種を行った。

(3) ノロウイルス等感染予防

所内での感染を防ぐために、施設内の消毒や日常生活における手洗い・うがいを励行し、朝の会やポスターの掲示等を通じて利用者様や家族の方々の意識の高揚に努めるとともに、職員に対しては、所内研修において発生時の対応についての手順、注意事項の確認を徹底した結果、罹患者は無かった。

(4) 機能訓練の実施

月曜日から金曜日の13時30分から15時まで、理学療法士の作成した個別プログラムに添った機能訓練を実施し身体機能の保持増進を図った。

また、11時10分から20分間「お口の体操」を行い、口腔機能の低下防止に努めた。

(5) 新型コロナウイルス感染予防

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い従来の感染症マニュアルを見直し、利用者様の施設内でのマスク着用などの規制を一部緩和したものの、基本的な予防策や施設内消毒、換気などについては継続して行い、感染予防に努めた。ワクチンは春接種で職員16名、利用者様44名、秋接種で職員11名、利用者様49名が実施した。散発的な感染はみられたが抗原キットの活用、陽性者・濃厚接触者のコホーティング（陽性者・濃厚接触者をそれぞれ同室とし、非感染者との接触をしないようにする方法）を行った結果、クラスター発生には至らなかった。

9 衛生管理の状況

(1) 寝具類・シーツ交換

寝具類（枕、掛布団・肌掛、ベットパット等）の交換を年1回、シーツ・カバー類（掛布団・肌掛布団用）は毎週1回交換し衛生管理に努めた。

(2) 居室、浴室等の清掃

利用者様の居室清掃（荷物の整理整頓及び室内清掃）を週1回以上行うとともに、居室や共通利用スペースの浴室、脱衣室、廊下、多目的ホール等の清掃を毎日行い衛生管理に努めた。

(3) 入浴

一般入浴を月・木曜日の13時から16時まで行い、7月～9月の期間は水曜日・土曜日でもシャワー浴を行った。

特浴は、月・木曜日に男子は9時から11時30分まで、女子は13時30分から14時30分まで行い、支援入浴は火・金曜日に、女子は9時から10時30分まで、男子は10時30分から11時30分、13時30分から16時まで実施した。その他、入浴の出来ない利用者様には清拭等も行いながら、身体の衛生保持に努めた。

10 災害事故防止等訓練の状況

(1) 重度障害者への防災上の配慮

- ①同室者（2人部屋）への配慮として、できるだけ同種の障害（歩行の困難な人同士や聴覚障害者同士等）の組み合わせにならないよう配慮してやむを得ず同室にする場合は、緊急呼出ベルの設置や隣室者からの協力や職員への通報を密にするなどの対応を行った。
- ②障害の程度に対応した避難路の確保に努め、歩行の困難な人や目の不自由な人等は避難口に近い居室にするなどの配慮を行った。
- ③予備の車椅子を利用しやすい場所に配置するなど利便性に配慮した。

(2) 事故や災害防止と安全のために

①防災計画

きめ細やかな消防・防災計画の整備と万全な備えを行うとともに、予防に重点を置いた取り組みを実施し、設備の点検・管理や整理・整頓を徹底した。

②避難訓練

日中・夜間（想定）も含めた総合訓練（通報、初期消火、避難の消火器操作訓練等）や、災害を未然に予防する防火思想の普及・徹底を図った。

また、災害時や停電時における安全対策や機械器具、装置の操作手順の周知に努めた。

自家発電機からコンセントまでの電線の整備を行うことにより、常にナースコール対応ができる等、停電時の電源の確保に努めた。

11 就労支援事業の研修旅行

事業名	実施日	場所	参加者数
就労B型事業日帰り旅行	7月12日（水）	男鹿水族館GAO道の駅てんのう	利用者18名、家族会3名、合計21名

12 就労支援事業の推移

(1) 事業収入額の推移

(単位：円)

区分	就労継続支援A型	就労継続支援B型	年度総計
令和元年度	49,158,665	14,350,632	63,509,297
令和2年度	40,123,467	13,755,704	53,879,171
令和3年度	38,431,395	14,047,650	52,479,045
令和4年度	(-)	51,928,912	51,928,912
令和5年度	(-)	51,589,032	51,589,032

(2) 工賃支給実績額の推移

(単位：円)

区分	就労継続支援A型	就労継続支援B型	年度総計
令和元年度	12,291,748	5,146,910	17,438,658
令和2年度	12,658,061	5,069,000	17,727,061
令和3年度	10,163,193	5,429,040	15,592,233
令和4年度	(-)	6,451,839	6,451,839
令和5年度	(-)	7,656,065	7,656,065

13 利用者の状況

(1) 施設入所・生活介護支援事業

①市町村別の入所・生活介護利用者数

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
秋田市	20	12	32	13	12	25
男鹿市	2	1	3	1	1	2
横手市	0	1	1	0	0	0
大仙市	4	0	4	4	0	4
能代市	3	0	3	3	0	3
北秋田市	1	0	1	0	0	0
潟上市	1	0	1	1	0	1
小坂町	0	0	0	0	0	0
五城目町	1	0	1	1	0	1
三種町	1	1	2	1	1	2
計	33	15	48	24	14	38

②年齢別・性別の入所・生活介護利用者数

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0
20～29	1	0	1	1	0	1
30～39	1	1	2	1	2	3
40～49	2	2	4	1	2	3
50～59	10	4	14	6	2	8
60～69	11	4	15	9	4	13
70歳以上	8	4	12	6	4	10
計	33	15	48	24	14	38
平均年齢	61歳	62歳	60歳	58歳	61歳	60歳

③入所・生活介護利用者の利用期間

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
1年未満	5	1	6	1	1	2
1年以上～3年未満	6	1	7	5	1	6
3年以上～5年未満	3	2	5	3	2	5
5年以上～10年未満	4	4	8	4	3	7
10年以上～15年未満	2	1	3	2	2	4
15年以上	13	6	19	9	5	14
計	33	15	48	24	14	38

④障害別利用者区分

(内数)は重複者数

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
身体障害者	30 (5)	11 (2)	41 (7)	21 (3)	10 (3)	31 (6)
知的障害者	5 (3)	4 (1)	9 (4)	4 (2)	5 (2)	9 (4)

精神障害者	3 (2)	2(1)	5 (3)	2 (1)	2 (1)	4 (2)
計	38 (5)	17(2)	55 (7)	27 (3)	17 (3)	44 (6)

⑤入所・生活介護利用者の障害支援区分

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
支援区分1	0	0	0	0	0	0
支援区分2	2	0	2	0	0	0
支援区分3	14	6	20	8	6	14
支援区分4	7	4	11	6	3	9
支援区分5	8	3	11	8	3	11
支援区分6	2	1	3	2	2	4
非該当	0	1	1	0	0	0
計	33	15	48	24	14	38

⑥新規入所・生活介護利用者数と利用直前の生活状況

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
他施設利用	1	0	1	1	0	1
自宅	2	1	3	1	1	2
病院	2	1	3	0	1	1
その他	1	0	1	0	0	0
計	6	2	8	2	2	4

⑦退所利用者数と退所理由

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
自宅（家庭復帰）	0	1	1	0	1	1
他施設	1	0	1	1	0	1
通所から入所へ	0	0	0	0	0	0
病院	2	0	2	2	0	2
グループホーム	0	0	0	0	0	0
計	3	1	4	3	1	4

⑧身体障害区分

(内数)は重複者数

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
上肢障害	16(16)	8(8)	24(24)	12(12)	7(7)	19(19)
下肢障害	21(16)	9(8)	30(24)	16(12)	9(7)	25(19)
体幹障害	5(1)	1	6(1)	3(1)	1	4(1)
視覚障害	2	0	2	0	0	0
聴覚障害	2(1)	1	3(1)	2(1)	0	2(1)
内部障害	2(1)	0	2(1)	2(1)	0	2(1)
計	48(17)	19(8)	67(25)	35(13)	17(7)	52(20)

(2) 就労支援事業

①市町村別利用者数

(単位：名)

区 分	B型通所利用者		
	男	女	計
秋田市	26	4	30
男鹿市	2	0	2
横手市	0	2	2
能代市	1	0	1
北秋田市	1	0	1
計	30	6	36

②年齢別・性別利用者

(単位：名)

区 分	B型通所利用者		
	男	女	計
～19	1	0	1
20～29	2	0	2
30～39	3	4	7
40～49	6	0	6
50～59	7	2	9
60～69	8	0	8
70歳以上	3	0	3
計	30	6	36
平均年齢	51歳	42歳	50歳

③利用者の世帯状況

(単位：名)

区 分	B型通所利用者		
	男	女	計
親が生存	14	5	19
兄弟、姉妹世帯	12	1	13
配偶者有り	2	0	2
家庭消滅	0	0	0
その他	2	0	2
計	30	6	36

④新規利用者数と利用直前の生活状況

(単位：名)

区 分	B型通所利用者		
	男	女	計
他事業所利用	13	1	14
自宅	2	0	2
その他	15	5	20
計	30	6	36

⑤障害支援区分の状況

(単位：名)

支援区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
利用者数	1	4	16	5	0	0	10	36

⑥障害別利用者区分

(内数)は重複者数

(単位：名)

区分	男	女	計
身体障害者	23(3)	5(1)	28(4)
知的障害者	10(3)	2(1)	12(4)
精神障害者	0	0	0
その他(手帳無し)	0	0	0
計	33(3)	7(1)	40(4)

⑦身体障害区分

(内数)は重複者数

(単位：名)

区分	男	女	計
上肢障害	11(5)	1(1)	12(6)
下肢障害	9(5)	4(1)	13(6)
体幹障害	3	0	3
視覚障害	2	0	2
聴覚障害	2	1	3
内部障害	2	0	2
計	29(5)	6(1)	35(6)

(3) 医務室における処置及び利用者の入退院の状況

(単位：名)

区分	施設医務室における処置		入院		通院		
	実人員	延処置日数	実人員	延日数	実人員	延日数	
診療科目	内科系疾患	4	518	1	12	42	401
	外科系疾患	15	2,040	1	12	15	41
	精神科	0	0	2	93	12	101
	皮膚科	33	4,574	1	7	29	100
	眼科	16	2,456	4	11	27	70
	歯科	0	0	0	0	30	134
	耳鼻科	0	0	0	0	7	28
	泌尿器科	0	0	0	0	18	288
	その他	0	0	3	38	6	22
計	68	9,588	12	173	186	1,185	

(4) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）、結核、疥癬等感染症等の予防対策及び実施状況

予防対策	実施状況
①MRSA：手洗い・うがいの励行 処置前後の手洗い、消毒の徹底 高圧蒸気滅菌器による器具消毒 ②結核：胸部レントゲン検査実施（年1回）及び 内科健診（年2回） ③疥癬：皮膚、衣類等の清潔保持 居室内、ベッド周囲の環境整備 ④感染性胃腸炎（ノロウイルス、0-157等）： 手洗い・うがいの励行 自動手洗い機、石鹼液の設置 ⑤インフルエンザ：ワクチン接種 手洗い・うがい・手指消毒の徹底	①紙コップ、ペーパータオルを設置し、手洗 い・うがいの励行に努めた。職員へ携帯用 消毒液を配布、手指消毒を徹底した。 ②結核検診を1回／年、内科検診を2回／年 実施した。 ③寝具類の清潔を図る為、年に1回以上の寝 具の交換、週1回のシーツ・カバー類の交 換、居室清掃を実施した。 ④安全な食事の提供。手洗いの徹底。体調不 良者を早期にチェックする。 ⑤インフルエンザワクチンの接種を利用者様 61名、職員36名に実施した。

(5) 新型コロナウイルス感染症の予防対策及び実施状況

予防対策	実施状況
①職員の対応 ②出勤の有無 ③利用者様の通院 ④利用者様の外出 ⑤利用者様の体調観察 ⑥施設内の感染対策 ⑦抗原検査の実施 ⑧ワクチン接種の実施	①マスクの着用、手洗い・手指消毒・うがいを徹底した。 ②出勤時の検温、発熱・体調不良時は出勤せずに、上司へ報告し、病院 受診、または抗原検査を実施し、出勤の判断をした。 ③マスクの着用、手洗い・手指消毒・うがいを徹底した。 発熱・有症状時は通院先に連絡をし、その指示に従い対応した。 ④外出時のマスク着用と外出後の手洗い・うがい・手指消毒を徹底し した。 ⑤毎朝の検温と声かけによる体調確認を実施した。 ⑥換気、共有部分の消毒の徹底をした。 ⑦発熱・有症状時に抗原キットを使用し、検査を実施した。 ⑧嘱託医、かかりつけ医、他医療機関で実施した。 春接種で利用者44名、職員16名。秋接種で利用者様49名、職員11 名が実施した。

(6) 利用者の健康診断

期間	実施人員	調査項目	検査機関
6月7日 ～8月9日	41名 10名 36名 34名 43名 29名 40名 27名	胸部X線検査（直接） 大腸がん（便潜血） 採血（貧血、肝機能） 心電図 視力検査 聴力検査 尿検査 内科検診（就労B型利用者）	中通りハビリ病院 ふき健診クリニック
7月13日 ～9月14日	入所者 全員	内科検診、聴打診、血圧測定、問診	高橋内科医院（嘱託医）
令和6年 1月11日～ 3月7日	入所者 全員	内科検診、聴打診、血圧測定、問診	高橋内科医院（嘱託医）

14 職員の定期健康診断

期間	実施人員	実施職種	検査項目	検査機関
6月7日 ～7月12日	18名	35歳以下の職員	胸部X線、尿、心電図、採血他 (労働安全衛生法 66 条に基づく検査)	ふき健診クリニック
7月3日 ～10月4日	25名	35歳以上の職員	生活習慣病予防、大腸がん、 胃検診、乳癌、子宮がん	秋田赤十字病院 附属あきた健康管理センター
12月4日 ～3月18日	12名	夜勤職員	血圧、問診、尿、身長、体重 聴力、心電図、採血	ふき健診クリニック

15 避難訓練の実施状況

月 日	訓練の想定	訓練内容詳細
7月27日	夜間火災想定訓練	非常通報、初期消火、避難誘導、救急救護、非常放送
10月25日	日中地震想定訓練、 消火器操作訓練	非常通報、初期消火、避難誘導、救急救護、非常放送
3月13日	夜間火災想定訓練	非常通報、非常放送、緊急連絡網

16 施設内研修の実施状況

実施日	実施内容	講師及び開設者	摘要
8月17日	救急救命講習会	秋田市城東消防署員	参加者6名
9月15日	急変時の判断と対応	主任看護師	参加者4名
1月10日 11日 15日 16日 19日	虐待防止研修 ・身体拘束について ・通報の意義と通報後の対応	虐待防止委員会 生活支援員	参加者25名
2月1日 5日 13日 26日 27日 28日	施設における感染予防対策 ・新型コロナウイルス感染症等対 ・感染症対策キットの装着・脱衣 の手順等	主任看護師	参加者43名
2月14日 3月18日	第1回 利用者から聞く 介護福祉スタッフに求めること 第2回 要望にどう応えていくか 介護福祉士としての専門性の内 実をどう考えるか	日本介護福祉学会 全国公開講座 (WEB)	参加者8名

17 外部研修の実施状況

月 日	研修名・場所	参加者
4月27日	秋田県社会就労センター協議会及び施設長等セミナー (WEB)	所長

5月31日	秋田県社会就労センター協議会職員研修会 (WEB)	就労支援課長
6月16日 ~17日	秋田県災害派遣福祉チーム員登録基礎研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
7月3日	工賃向上セミナー (WEB)	就労支援課長 目標工賃達成指導員
7月6日	認知症介護基礎研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
7月11日 ~12日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (中堅職員コース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	看護師
7月25日 ~26日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (管理職員コース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	就労支援課長
8月1日	秋田県社会就労センター協議会 事業所見学会 秋田市 (福) 緑光会 緑光苑	目標工賃達成指導員
8月10日	クレーム対応研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
8月31日	秋田県相談支援従事者初任者研修 秋田市 秋田テルサ	生活支援員
8月31日	CareTEX 仙台 '23 (介護用品展、介護施設産業展、介護施設ソリューション展) 仙台市 夢メッセみやぎ	所長、総務企画課長、生活支援課長、栄養士
8月31日 ~9月1日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (チームリーダーコース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	目標工賃達成指導員
9月1日	秋田県相談支援従事者初任者研修 秋田市 秋田テルサ	サービス管理責任者
9月6日	秋田県相談支援従事者初任者研修 説明会 秋田市 ASP スタジアム	サービス管理責任者
9月12日	雇用保険適用関係電子申請利用に関する説明会 秋田市 ハローワーク秋田	事務員
9月12日	雇用保険適用関係電子申請利用に関する説明会 秋田市 ハローワーク秋田	事務員
9月21日	サービス管理責任者更新研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	所長 就労支援員
9月22日	サービス管理責任者更新研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	所長 相談支援専門員
9月26日	社会保健施設・事業者等事務職員研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	総務企画課長
9月27日 ~28日	国際福祉機器&フォーラム 東京都 東京ビックサイト	所長、 生活支援課長 生活支援員
10月11日	秋田県相談支援従事者初任者研修 事例課題助言指導 秋田市 ASP スタジアム	サービス管理責任者
10月11日	安全運転管理者等法定講習 秋田市 雄和市民サービスセンター	総務企画課長

10月19日	高齢者雇用推進セミナー 秋田市 秋田県生涯学習センター	事務員
10月19日 ~20日	サービス管理責任者実践研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
10月27日	秋田県相談支援従事者初任者研修 秋田市 秋田テルサ	サービス管理責任者
11月2日	県民公開講座 秋田県身体障害者相談員連絡協議会研修会 秋田市 秋田県社会福祉会館	所長
11月2日	OJT リーダー研修 (WEB)	生活支援員
11月6日	福祉保健施設・事業者等看護職員研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	看護師
11月9日	接遇講習会 (WEB)	生活支援員
11月10日	高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 担当職員研修会 (WEB)	サービス管理責任者
11月14日 ~15日	甲種防火管理新規講習第2回 秋田市 秋田県生涯学習センター	総務企画課長
11月21日	農福連携セミナー 大潟村 大潟村公民館	就労生活支援員
11月22日	メンタルヘルス講習会 (WEB)	生活支援員
11月29日	第1回福祉サービスに関わる苦情解決研修会 初級編 (WEB)	生活支援員
11月29日 ~30日	サービス管理責任者基礎研修 (WEB)	生活支援員
11月30日	雇用管理セミナー 秋田市 秋田県生涯学習センター	総務企画課長
12月5日	秋田県相談支援従事者初任者研修 (事例課題助言指導) 秋田市 ASP スタジアム	サービス管理責任者
12月6日	課題別研修 I コーチング研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
12月19日	福祉実践2023 in あきた (WEB)	事務員
12月19日 ~20日	秋田県相談支援従事者初任者研修 秋田市 秋田テルサ	サービス管理責任者
12月20日	採用力向上セミナー (WEB)	総務企画課長
12月20日	成年後見制度利用促進に向けた第3回勉強会 (WEB)	生活支援員
12月27日	障害者虐待防止・権利擁護研修 (WEB)	目標工賃達成指導員
令和6年 1月15日	保護具着用管理責任者教育 秋田市 協働大町ビル	サービス管理責任者

1月23日	化学物質管理者講習 秋田市 協働大町ビル	サービス管理責任者
1月25日 ～27日	秋田県災害派遣福祉チーム員登録基礎研修 (スキルアップ研修Ⅰ) 秋田市 秋田テルサ	サービス管理責任者
1月30日	障害のある人の質の高い就労生活を実現するための就労定着支援セミナー (WEB)	目標工賃達成指導員
2月6日	秋田県難病患者就労支援研修会 (WEB)	看護師
2月9日	トータル推進会議 秋田市 ANA クラウンプラザホテル	所長 総務企画課長待遇
2月17日 ～18日	小型車両系建設機械特別教育 秋田市 太平建機教育センター	総務企画課長 就労支援員
2月28日	秋田県障害福祉団体協議会合同研修会 秋田市 遊学舎	サービス管理責任者
3月7日	認知症介護基礎研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
3月7日	社会保険事業所事務説明会 (WEB)	事務員
3月12日	時間外労働の上限規制等に関する説明会 (WEB)	総務企画課長待遇 事務員
3月14日	環境感染学会主催地域セミナー東北ブロック感染対策研修会 (WEB)	生活支援課長 看護師
3月21日	秋田県障害福祉総合支援法関係説明会 (WEB)	総務企画課長 事務員

【2】秋田ワークセンター相談支援事業の実績

1 総括

障害福祉サービス利用者に対してアセスメントし、サービスの利用調整を行い包括的かつ継続的にサービスが提供されるよう支援した。又、サービスが的確に提供されているか、新たなニーズは発生していないか等モニタリングを行い、適切な社会資源を有効活用しながら自己実現できるようサービス等利用計画の見直しを行った。

障害者・家族が抱える複合的なニーズに対して、医療・保健・介護・福祉・教育・雇用・司法等多面的な視点や専門性からその本質を見極め、多職種連携及びチームアプローチより、本人・家族へケアマネジメントを円滑に実施した。

相談支援専門員としての資質向上と専門的知識の習得を図るため、各種研修会へ積極的に参加した。
令和5年度の事業実績は以下の通りである。

2 事業及び職員

- (1) 事業 指定特定相談支援事業 (計画作成)
- (2) 職員 管理者 1名 (兼務)
- 相談支援専門員 2名 (専任)

3 事業の内容

- (1) サービス等利用計画の作成及び提出
- (2) サービス等利用計画作成後の便宜の提供
- (3) サービス等利用計画の変更

4 事業の主な対象者

- (1) 身体障害者
- (2) 知的障害者

5 月別件数

月	サービス等利用計画作成		モニタリング	
	身体	知的	身体	知的
4月	10	19	10	9
5月	2	9	17	15
6月	2	7	10	14
7月	4	2	10	14
8月	5	5	5	8
9月	3	4	24	25
10月	1	4	10	13
11月	2	5	13	9
12月	2	10	10	5
1月	2	7	11	10
2月	4	6	5	7
3月	2	3	18	9
計	39	81	143	138
総数	120 (138)		281 (290)	

※計画相談モニタリング加算含む

() は令和4年度実績

6 会議・研修への参加状況

期間	内容	場所	出席者
月1回開催 (8月～2月)	障がい者総合支援協議会 相談支援部会	秋田スポーツPLUS・A SPスタジアム会議研修室 等	相談員
5月22日	秋田県医療的ケア児等コーディネーター養成研修	オンライン	相談員
6月1日	秋田県発達障害者支援センター連絡協議会	オンライン	相談員
6月1日～30日	相談支援従事者現任研修(講義)	eラーニング	相談員
6月3日	秋田県医療的ケア児等コーディネーター養成研修(共通講義)	オンライン	相談員
6月17日	秋田県医療的ケア児等コーディネーター養成研修(共通講義)	オンライン	相談員

6月29日	秋田県相談支援従事者等講師養成研修	秋田県J Aビル	相談員
6月29日	第1回秋田市基幹相談支援センター事例検討会	秋田スポーツPLUS・ASPスタジアム会議研修室	相談員
7月6日	秋田県医療的ケア児等コーディネーター養成研修（共通講義）	オンライン	相談員
7月8日～9日	秋田県医療的ケア児等コーディネーター養成研修（コーディネーター演習）	県立医療療育センター	相談員
7月14日	相談支援従事者現任研修（演習）	オンライン	相談員
7月26日～27日	秋田県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	オンライン	相談員
8月10日	相談支援従事者現任研修（実地研修）	竹生寮	相談員
8月24日	相談支援従事者現任研修（演習）	オンライン	相談員
8月25日	相談支援従事者現任研修（実地研修）	秋田スポーツPLUS・ASPスタジアム会議研修室	相談員
9月8日	虐待・ハラスメント防止研修	社会福祉会館	相談員
9月21日	サービス管理責任者研修更新研修 ファシリテーター	社会福祉会館	相談員
9月22日	サービス管理責任者研修更新研修 ファシリテーター	オンライン	相談員
9月22日	サービス管理責任者研修更新研修	オンライン	相談員
9月28日	相談支援従事者現任研修（演習）	オンライン	相談員
10月3日～4日	秋田県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	オンライン	相談員
10月19日～20日	サービス管理責任者研修実践研修 ファシリテーター	社会福祉会館	相談員
11月16日～17日	サービス管理責任者研修基礎研修 ファシリテーター	社会福祉会館	相談員
11月20日～21日	精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修会	社会福祉会館	相談員
11月29日～30日	サービス管理責任者研修実践研修 ファシリテーター	オンライン	相談員
12月8日	秋田市基幹相談支援センター事例検討会	秋田スポーツPLUS・ASPスタジアム会議研修室	相談員
1月19日	家族との関わり方、向き合い方を学ぶ研修会	秋田市役所正庁	相談員
1月29日	障害者差別解消に係る相談対応職員研修会	秋田県議会棟大会議室	相談員
3月22日	サービス管理責任者研修講師・ファシリテーター打合せ	社会福祉会館	相談員

7 職員の定期健康診断

期間	検診機関	実施人員
8月3日	秋田赤十字病院	1
9月13日	秋田赤十字病院	1

【3】コミュニティライフサポート谷内佐渡ホーム事業の実績

1 総括

職員と利用者様が、基本的感染対策の手洗いや、消毒などを継続し徹底することで今年度は感染者が出なかった。今後も気を緩めることなく感染症対策を徹底して継続していきたい。

共同生活援助は、8名が利用し満床状態で維持している。利用者様が安心して暮らせるよう、個別支援の充実を図るため、サービス利用に関するアセスメントやモニタリングに十分に時間をとり、利用者様が安心して満足のいく生活が送れるよう関係者で話し合いを行い、個別支援計画の充実を図っている。

短期入所は、相談支援事業所と連携を図ることで、定期利用者は勿論のこと、新規利用者様の受入れも積極的に行った。

令和5年度の事業実績は次のとおりである。

2 定員及び現員の状況

(令和6年3月31日現在)

共同生活援助 利用定員 8名／現員 8名 (男性8名)
短期入所 利用定員 2名／現員 2名 (男性2名)

3 職員配置の状況

(令和6年3月31日現在)

① 管理者 1名 (兼務 1名)
② サービス管理責任者 1名
③ 生活支援員 2名
④ 世話人 4名 (兼務 1名)
⑤ 事務員 1名 (兼務 1名)
⑥ 夜間支援従事者 8名 (兼務 8名)
計 17名 (兼務 11名)

4 事業の実施状況

(1) 共同生活援助

利用者様が安全・安心で快適な日常生活を送ることが出来るよう、相談・助言、身体介助等を行った。

個別支援計画はアセスメントやモニタリングをしっかりと行い、利用者様が望む生活を実現するための計画を作成した。

利用者様が自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、相談支援事業所や生活介護事業所、就労継続支援B型事業所、行政機関等と連携に努めた。

(2) 短期入所

利用者様又はその家族の緊急時における対応として、利用者様の宿泊を伴う支援を提供するため、その身体状況や置かれている社会・家庭環境に応じて、入浴や排せつ、食事の介護等必要な支援を適

切かつ効果的に行った。新型コロナウイルス感染防止のため、短期入所の受入れ時には事前に抗原検査を行い、確認してから受入れを行った。

また、行政機関や他の障害福祉サービス事業所等との密接な連携に努め、利用者等に関する情報共有を図った。

5 給食提供の状況

- (1) 日々の食事が美味しく家庭的な雰囲気の中で、栄養バランスや体調に配慮し、季節を感じられるよう四季の郷土食等も交えて提供した。又、食前の手洗い、うがいを励行し、食中毒及び感染症の予防を徹底した。
- (2) 調理者の健康管理（腸内細菌検査等）及び衛生管理（手洗い、清潔な服装等）に留意し、集団食中毒及び感染症の予防対策に万全を期すとともに、調理場や食堂の衛生管理（食器・調理器具等の消毒、調理環境の清掃、整理整頓等）の徹底に努めた。

6 入居者の健康管理の状況

入居者様の定期通院や内服管理の支援を行うとともに、血圧測定等を定期的に行うなど、病気の早期発見、早期治療に努めた。

7 衛生管理の状況

- (1) 寝具類の交換及びシーツ交換
寝具類（枕、敷・掛布団等）の交換を年1回以上、シーツ、カバー類（枕・布団等用）の交換を週1回行い寝具類の清潔に努めた。
- (2) 居室、浴室等の清掃
利用者様が自ら居室の清掃（荷物の整理整頓及び床や隅々の清掃）を行うよう支援するとともに、共通部分である浴室、脱衣室、廊下、食堂等の清掃を行い衛生管理に努めた。
- (3) 入浴
入浴日は月・水・金曜日の週3回とし、6月～9月は火・木・土・日にシャワー浴も提供した。又、安全で快適に入浴ができるよう、利用者様のニーズに応じた支援を行った。

8 災害事故防止等訓練の状況

- (1) 防災計画
きめ細やかな消防・防災計画の整備と万全な備えを行い、予防に重点を置いた取り組みを実施し、設備の点検・管理や整理・整頓を徹底した。
- (2) 避難訓練
所轄の秋田市城東消防署の指導を得て、日中・夜間想定も含めた総合訓練（通報、初期消火、避難、消火器操作訓練等）や地震想定避難訓練、洪水想定避難訓練を行い、災害を未然に予防する防火思想の普及・徹底を図った。又、災害時や停電時における安全対策や機械器具装置の操作手順の周知に努めた。

9 利用者の状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(1) 共同生活援助

①市町村別の利用者数

(単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
秋田市	4	2	0	6
能代市	1	0	0	1
男鹿市	1	0	0	1
計	6	2	0	8

②年齢別利用者数

(単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
20歳未満	0	0	0	0
20～29	0	0	0	0
30～39	0	0	0	0
40～49	1	0	0	1
50～59	2	0	0	2
60歳以上	3	2	0	5
計	6	2	0	8
平均年齢	56歳	68歳	0	59歳

③利用者の利用直前の生活状況

(単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
施設	3	0	0	3
自宅	2	2	0	4
病院	1	0	0	1
その他	0	0	0	0
計	6	2	0	8

④退居利用者数と退居理由

(単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
自宅	0	0	0	0
他施設	0	0	0	0
アパート	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	0	0	0	0

⑤ 障害別利用者区分

(単位：名)

区分	身体障害者						知的障害者		計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	
等級	1	4	0	0	1	0	1	1	8

(2) 短期入所

①市町村別の利用者数

(単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
秋田市	0	15	0	15
計	0	15	0	15

②年齢別利用者数

(単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
20歳未満	0	1	0	1
20～29歳	0	6	0	6
30～39歳	0	4	0	4
40～49歳	0	0	0	0
50～59歳	0	4	0	4
60歳以上	0	0	0	0
計	0	15	0	15
平均年齢		34歳		34歳

③月別利用者数

(単位：名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延日数	20	14	20	30	15	22	13	14	18	36	13	13	228
実人数	6	5	5	5	5	6	4	5	5	4	4	4	58

10 職員の定期健康診断

月日	実施人員	検査項目	健診機関
6月 7日	4名	胸部X線検査、尿検査、心電図、採血検査他 35歳以上	ふき健診クリニック
7月18日	1名	生活習慣病予防検査、大腸がん検査、乳癌、子宮がん、胃健診	秋田赤十字病院

11 避難訓練の実施状況

月日	訓練内容詳細
5月23日	地震想定避難訓練
9月16日	非常通報、初期消火、避難誘導、消火器操作、洪水想定
3月 2日	非常通報、初期消火、避難誘導、消火器操作